

森山よしひさ



後援会ニュース



2014年1月
新春号



発行 森山積久後援会事務局
〒五五六-〇〇一五
大阪市浪速区敷津西二-1-12
YKビルディング二階A号室
☎ 〇六-六六三〇-八八〇〇
FAX 〇六-六六三〇-九二六〇

確定申告・税務相談等

中企連浪速

☎ 06-6630-7200
Fax 06-6630-9260

2014

新年あけまして おめでとうございます

大阪市会議員の森山よしひさです。

多くの方々のご支援で議員活動も8年目を迎えようとしています。日々浪速区の課題解決に向け取り組んでいます。昨年の後半には多くの保育・教育の保護者の方々からの生の声を聞かせていただき、課題解決へと勉強させていただきました。本年もたくさんの方々からの生の声を頂戴し、浪速区の発展へと取り組んでいきます。



12月5日大阪市会本会議にて 代表一般質問を行いました

森山議員は、OSAKAみらいを代表して本会議において市民本位の市政運営を求め一般質問を行いました。

一般質問は「バス・地下鉄事業の民営化」「水道事業の民営化」「教育施策」などについて拙速な改革ではなく、熟議と十分な検証を行い市民本位の市政運営を求めました。



本会議場で代表一般質問を行う森山議員

議事録一部抜粋(前段、教育)
森山議員 私は、OSAKAみらい大阪市会議員団を代表して、市長に質問させていただきます。

橋下市長就任から間もなく二年を迎え、この大阪府役所も良きにして、悪きにして変わってきたことは実感しています。

【途中省略】
大阪市長という立場にありながら、国政党の代表も兼ね、日本全国沖縄から北海道まで橋下徹の名前が知れ渡っている。こんな発信力を持った市長は全国どこを探しても居ないと思います。

この間、私たちが出来なかった見直



森山議員が橋下市長に厳しく追及

しに切り込んできたことは、本当にすごい事であり、市長の発信力、発言力があれば、今まで誰もできなかった改革が実行できるはずだと思います。私としては、ぜひとも早く国政に行っていたideきたい。次は国の改革に取り組んでほしいというふう

に思っています。

せっかくの質問の機会をいただきましたので、市長のすごい部分は認めつつも、成果を急ぐあまり拙速に事を進める傾向が見られることや議会の議論が煮詰まらないうちに報道発表して既成事実化する手法など、この間の市政運営で改めてほしい部分も指摘しておきたいと思えます。

また、これまで市長は常にトップスピードで走っているの、周囲がついていけない面や、やり過ぎという面があったりするのも事実であり、市長にはじっくり議論することの重要さも分かってほしいと思えます。時間の都合もあるので、何点かに絞って、以下質問させていただきます。

○「バス・地下鉄事業の民営化・水道事業の民営化質疑部分などインターネット議会中継まで」

(<http://www.city.osaka.lg.jp/sh>)

ikai/)
○「教育課題について」

森山議員 次に学校選択制と学力テストの問題についてお聞きします。

まず、学校選択制については、平成二六年度から学校選択制を実施する区における希望調査では、特定の学校に人気が集まっている状況が見てとれます。

学校を選択する理由については、入りたいクラブがある、通学面で近いなど、さまざまな要因はあると思いますが、しかしながら、人気のある学校があるということは、必然的に人気のない学校もあるということであり、今後その学校の生徒数はただ単に減るだけになってしまうのではないかと思います。

この結果を見ると、まさに特定の学校が不人気になるという傾向が見受けられ、やはり私たちの懸念は正しかったんじゃないかなというふうを感じております。

教育委員会はこの結果を見てどのように考えているのか、お伺いいたします。

教育長 学校選択制につきましては、子どもたちの最善の利益を図り、子どもや保護者の意向に添えていくために実施をするものでございまして、教育委員会といたしましては指定校変更の基準拡大とあわせて就学制度の改善を図ってきております。

【途中省略】
森山議員 学力テストの公表が学校の

子どもの笑顔あふれる浪速区へ



は、ある学校で44人もの校区外の学校を選ぶ生徒が出てきている学校が出てきております。仮にこの状態が続けば、三年後には100人以上もの生徒が減るということになってまいります。

教育委員会は、まだ理由を把握していないということですが、学校の努力だけでは解決できない課題もあるというふうに思います。結局、学校間の格差拡大や統廃合につながるだけではないかというふうに懸念いたします。

生徒や保護者に選択肢を与えるという市長の思いはあるだろうけれども、他都市では学校選択制を取りやめる自治体があることなどから見ても、やはり学校選択制と学力テストの公表がセットになる本市の取り組みについては、より慎重な検証を踏まえた上での運用が重要だと思いますが、市長の見解をお伺いいたします。

橋下市長 学校選択制や学力テストの学校別の公表、これに関しての懸念は、今議員がご指摘をされたことが主要な懸念だと思っております。

【途中省略】

選択をされない学校がそのままどんどん衰退していくじゃないかというの、だからそうならないように、じゃ、課題は何なのか、どのような支援をやらなければいけないのか、そこを考えたながら、選ばれなかった学校については、積極的にサポートをして、学校をよくしていくということが、僕は重要だと思っております。

実際に、今年度の希望調査結果で

森山議員 学校選択制は、今後またくさんの問題点が出てくるというふうに思うんですけれども、小中一貫校も、きのうの質疑でもありましたけれども、二校とも大幅な定員割れになったということが報道されていきましたけれども、仮に選択制で人気のあった天満中学が小中一貫校になっていたら、恐らくこれは市長、定員は大幅に倍率が出るんですよ。やはりこれが学校とか、教育委員会が努力しても解決できない点だというふうに思っています。

【途中省略】

これまで聞いてきた民営化の話にしても、民間でなければできないという点があるというのなら、安易に民営化を簡単に選択するのではなく、それを公の形態でやる方法がないのかをもっと模索すればよいのではないかというふうに思います。

市長が、交通局の地下鉄のトイレの汚いのをきれいに公であればでき



森山議員に答弁する橋下市長

ないというふうなことで、やはり市長の力によりまして、今、地下鉄のトイレ、大変きれいになっております。また、駅ナカ事業、天王寺、難波でもどんどん事業が進んでいてほしいというふうに思います。

就任以降、市長は、みずからへの支持を民意といい、それを背景に、これまで施策、事業の見直しに取り組んでこられました。しかしながら、先日の新聞記事を見ると、残り2年間、方針を変えることなく、支持率がゼロ%になるのが、突き進んでいきたいというふうに語ったと掲載されておりました。意気込みは大変大事なことだというふうに思います。けれども、支持率がゼロ%では民意もゼロであります。先日の市立幼稚園の民営化議案の一九件のうち四件が否決という結果は、拙速に事を進めることだけに捉われ、地域の理解を得る努力を怠った結果であり、行政としては失政であるというふうに思います。

市長、残りの二年ですけれども、市政運営に取り組むのなら、ぜひ直接でもいいし、我々議員を通じてでも、区長を通じてでもいいですので、どうか市民の思いや意見に耳を傾けていただき、私はそれこそがまさに民意であるというふうに思います。最後に、冒頭でも申し上げましたけれども、私としては一日も早く、橋下徹、国政で大活躍という新聞記事をよめることを楽しみにして、質問を終わりたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

編集部より

今回の新春号は昨年12月5日に行なわれた大阪市会本会議での森山議員の代表質問の一部を掲載（特に教育の部分）させていただきました。

浪速区においては市内で一番児童・生徒数が少ない区だということ、ここ数年で知名度が上がり、危機感をもたれている方も多いためです。

学校教育で「学力」ばかりに力を入れ、コミュニケーション力や道徳感情や規律意識・生活力などバランスのとれた人格形成を目指すことをおろそかにすれば、はたして子どもたちは社会に出た時に立派に自立できるとは言い難いのではないのでしょうか。

もちろんテストの成績が優秀なのは誰しもが喜ぶのは、ごく自然な事ではありますが、昨今の少子化による統廃合や学校選択制の問題で児童生徒の地元以外への流動化が始まりつつあります。

学校がなくなり、子どもの数が激減した地域は地価が下落し、過疎化が進み活気を失い、地域コミュニティの崩壊を招きます。

しっかりと区民の皆さんと時間をかけた議論のもと、ハード面、ソフト面の整備も進め、浪速区で子育てしてみたい、区内の「どの学校でも」子育てしてみたい、そういった政策を進め、子どもを増やす環境整備が急務ではないでしょうか。